

第2問

(1) 下記の【資料】にもとづいて、当期（X7年4月1日からX8年3月31日まで）における答案用紙の3つの勘定の空欄にあてはまる適切な語句または金額を答えなさい。

【解答上の留意事項】

- 各勘定の空欄は（日付）〔摘要〕〈金額〉の順である。（日付）は採点対象としないため、空欄のままでもよい。
 - 解答にあたり、摘要欄の勘定科目等は以下から最も適当なものを選択して、答案用紙の〔 〕の中にア～クの記号で答えなさい。なお、勘定科目等はこの設問の中で複数回使用してよい。
- ア. 未払法人税等 イ. 未払配当金 ウ. 繰越利益剰余金 エ. 法人税、住民税及び事業税
オ. 利益準備金 カ. 前期繰越 キ. 次期繰越 ク. 損 益

【資料】

1. X7年6月28日の株主総会において、繰越利益剰余金を財源とした株主への配当 ¥ 350,000、配当に伴う利益準備金の積立て ¥ 35,000 が決議された（X7年7月1日に、配当金は支払われた）。
2. X8年3月31日の決算にあたり、決算整理後の収益と費用の各勘定残高（法人税、住民税及び事業税を除く）は、答案用紙の損益勘定のとおりであった。当期の法人税、住民税及び事業税として、税引前の利益の30%を計上する。なお、出題の便宜上、仕入と法人税、住民税及び事業税以外の費用をまとめて「その他費用」と表示している。